

つくば市記者会 御中

発信日：令和5年（2023年）8月9日（水）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 情報政策課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

自治体業務効率化のための 生成AI活用に関する共同研究を行います



つくば市は、PwCコンサルティング合同会社と共に、自治体向け生成AI活用に関する共同研究を開始します。

これは「つくばイノベーションスイッチ※」の一環として、PwCコンサルティング合同会社の提案を受けて実施するもので、本研究では、職員へのアンケートなどを通じて効果検証を行います。

【研究タイトル】 自治体業務効率化のための生成AI活用のための研究

【実施期間】 令和5年8月24日（木）から

【対象部署】 全部署

【研究概要】 生成AI活用研修の実施、生成AI活用ガイドラインの作成等

【想定される効果】

・ 生成AIに関する知識の取得

生成AIは業務効率化の貢献に大きな可能性を持つ一方で、誤った認識と運用方法によっては情報漏えい等の危険性をはらんでいます。本共同研究により職員一人一人が生成AIに関する正確な知識や運用方法、危機管理意識を身に付けることで、生成AIを安全に、そして効果的に利用できる人材の育成が期待されます。

・ DXによる庁内事務作業の効率化

文章の要約や翻訳の添削、企画立案の補助等、職員の定型的・非定型的な事務作業に要する時間を削減し、業務の効率化を図ることが期待されます。



※ **公共サービス共創事業（通称：つくばイノベーションスイッチ）**

業務効率化につながるICT製品やサービスの創出につなげるため、つくば市が行政をフィールドに民間事業者等と共同研究を行う事業。

第1弾として、平成29年(2017年)に全国の自治体で初めてRPAによる業務自動化の共同研究を実施。



市ホームページ